

私立大学図書館協会 2024 年度第 2 回東西合同役員会議事要録

日 時：2025 年 3 月 7 日（金） 14 時 00 分～16 時 30 分

開催方法：Web 会議

出席者：名簿のとおり

議事進行は、会長校の明治学院大学助川図書館長が担当した。議事に先立ち出席確認を行った。本日の役員会は次期役員校（2025-2026 年度）が陪席する旨、助川館長より説明があった。

[報告事項]

1. 協会会務報告（2024 年 8 月～2025 年 2 月）

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p.1～8）のとおり報告した。

（1）会務報告

2024 年度総会で、新規加盟、脱退校が承認され、2024 年度加盟校は、東地区 268 校、西地区 246 校、計 514 校となった。2025 年 3 月 1 日現在、2025 年度新規加盟申込はなし、脱退届出校は西地区 2 校となっている。その他、未加盟校への勧誘を行ったこと、会報 163 号が刊行されたことについて報告された。

（2）2024 年度一般会計・特別会計中間決算

一般会計の予算額は 2023 年度の加盟校数で設定しており、決算額は 2024 年度総会で承認された 514 校からの会費徴収の実績額としている旨説明があった。会報刊行費について、163 号のページ数増加、編集作業の業者への依頼、郵便料金の値上げにより予算を超過したとの説明があった。研究助成特別会計は、助成対象者 1 名について支出済、国際図書館協力特別会計は、協賛企業からの基金は 7 社から入金があった旨報告された。

2. 東地区部会会務報告（2024 年 8 月～2025 年 2 月）

東地区部会長校（帝京大学・饗場）より部会報告として、配付資料（p.9～10）のとおり報告した。研究部担当理事校（専修大学・飯泉）より研究部報告として、配付資料（p.10～15）のとおり報告があった。

3. 西地区部会会務報告（2024 年 8 月～2025 年 2 月）

西地区部会長校（中部大学・高木）が、配付資料（p.16～26）のとおり報告した。各地区協議会での実施事業、研究会等について報告された。

4. 委員会報告（2024 年 8 月～2025 年 2 月）

（1）協会賞審査委員会

協会賞審査委員長（関西学院大学・有川）より、配付資料（p.27）のとおり報告が行われた。2024 年度協会賞は推薦がなかった旨報告があった。

(2) 研究助成委員会

研究助成委員長（関西学院大学・井上）より、配付資料（p. 27～28）のとおり報告が行われた。2025年度研究助成について1件応募があり、本日の協議事項としている旨報告があった。

(3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員長（法政大学・須賀）より、配付資料（p. 28～29）のとおり報告が行われた。2025年度海外派遣研修に関して、米国イリノイ大学のプログラムに1名派遣することが決定した旨報告があった。

5. 協会関連事項報告（2024年8月～2025年2月）

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p. 30～31）のとおり報告が行われた。日本図書館協会の2024年度通算第2回代議員総会について、議決を書面決議書で提出済みである旨報告があった。

6. 2024年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 32～34）のとおり報告した。一部委員の交替があったことが報告された。

7. 2025～2026年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 35～37）のとおり報告した。現時点で一部未定の委員等があり、年度末までに確定する旨報告があった。

8. 2025年度行事・会議予定

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 38）のとおり報告した。西地区部会長校（中部大学・高木）より、西地区役員会は、6月9日に第2回役員会を行い、2026年3月6日開催の役員会は第3回となる旨報告があった。

9. 第85回（2024年度）総会・研究大会の報告について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p. 39～44）について報告された。会長校が加盟校宛に実施したアンケート結果をまとめたものである旨説明があった。2024年度総会はメール会議、研究大会はオンライン開催となったが、総会のメール会議での実施については多数の加盟校が支持する結果となった。研究大会は、オンライン開催、オンラインと対面のハイブリッド開催の2つに意見が分かれた。オンライン開催は、遠方からでも参加ができること、ハイブリッド開催は対面で交流することのメリットをあげた加盟校が多かった。

[協議事項]

1. 2025 年度事業計画（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 45～46）に基づき説明した。協議の結果、提案のとおり承認された。

2. 2025 年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 47～50）に基づき説明した。研究助成特別会計について、2024 年度助成対象者が 2024～2025 年度の 2 年間の助成で採択されているため、2025 年度予算で 1 件分の助成金の支出が決まっており、また 2025 年度助成への応募が 1 件あったため、2025 年度の研究助成金支出は 2 件分の 120 万円を計上している。ただし、協議事項 4 で不採択の提案が出ており、こちらが承認された場合は 1 件の 60 万円となる旨説明があった。尚、予算案の正式な承認は 2025 年度総会となるが、4 月より暫定執行する旨説明があった。協議の結果、提案のとおり承認された。

3. 第 86 回（2025 年度）総会・研究大会（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p. 51）に基づき、次期当番校である京都女子大学による提案を説明した。協議の結果承認された。

4. 2025 年度（2024 年度申請）研究助成について

研究助成委員長（関西学院大学・井上）が、配付資料（p. 52～53）に基づき説明した。応募 1 件について、委員会審査の結果不採択となり、その理由について説明がされた。協議の結果、提案のとおり承認された。この結果を受け、会長校（明治学院大学・鈴木）より、協議事項 2 で承認された研究助成特別会計予算案の研究助成金支出額は、1 件分の 60 万円に修正する旨説明があった。

5. 「私立大学図書館協会会則」の改正に伴う関連規程の改正について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p. 54～56）に基づき、2024 年度総会で承認された会則改正に伴い、関連規程等で会則の条項を参照している部分の、条項番号の修正が改正の趣旨である旨説明された。協議の結果、提案のとおり承認された。

6. 「私立大学図書館協会会則」の改正に伴う「私立大学図書館協会組織図」の改正について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p. 57～58）に基づき、会則改正に伴った修正、および実態に即した修正であることが説明された。協議の結果、提案のとおり承認された。

7. 「私立大学図書館協会会則」改正後第 11 条の修正について

会長校（明治学院大学・鈴木）が、配布資料（p. 59）に基づき説明した。2024 年度総会で会則改正は承認されたが、改正後第 11 条第 2 項の、理事校数についての文面が

わかりにくいという意見が加盟校より複数寄せられたため、文面を再検討した改正案である旨説明があった。協議の結果、提案のとおり承認された。尚、改正前第12条第2項の、役員会における議決権を有しない理事校に関する記載について改めて確認があり、改正後の会則ではこの記載は削除済である旨説明があった。

8. 「私立大学図書館協会国際図書館協力基金による海外認定研修実施要領」「私立大学図書館協会国際図書館協力基金による海外派遣研修実施要領」の一部改正について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p.60～64）に基づき説明された。

「海外派遣研修実施要領」の改正は実態に即した改正である旨説明があった。「海外認定研修実施要領」の改正は、翌年の研究大会での報告を助成の条件としないという趣旨で、この部分を削除する改正案である。尚「海外派遣研修実施要領」も研究大会での報告について記載があるが、こちらはそのままとする旨説明があった。海外派遣研修と海外認定研修の違いについて質問があり、国際図書館協力委員長（法政大学・須賀）より、海外派遣研修はイリノイ大学モートンソンセンターの図書館員向けプログラムで、約1か月間の長期研修であること、海外認定研修は3日～4日、特定の国の図書館を見学する研修であり、海外派遣研修の方がより高度な内容の研修であること、海外認定研修参加者は研修後に委員会へ報告書を提出、協会ホームページに公開されていることが説明された。協議の結果、提案のとおり承認された。

9. 研究大会での海外研修、研究助成の報告について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料（p.65）に基づき説明された。研究大会がオンライン開催となってから、海外派遣研修、研究助成の報告は加盟校限定ページに資料や動画で報告を掲載する形となっているが、これらを研究大会のプログラムに含む形とする提案である旨、説明があった。研究大会の開催方法にも関わる案件でもあり、協議の結果不承認となった。

[懇談事項]

1. 私立大学図書館協会一般会計決算書について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、2024年度総会にて、2023年度一般会計決算書での、総会・研究大会特別会計の戻入金についての記載が明確でないとの指摘があった旨説明があった。「特別会計」の位置づけ、戻入金の記載のしかたなど、意見交換をした。

2. その他

協会会報の電子化を進めてほしい旨意見があった。会長校（明治学院大学・鈴木）より、会報の電子化については2023年度の第2回東西合同役員会でも意見が出ており、様々な課題があるが引き続き検討事項とする旨発言があった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

2024年度 第2回東西合同役員会 出席者名簿

(2025年3月7日 (金) 14:00～ Web会議)

	役員名	議決権	大学名	職名	氏名
1	会長校	○	明治学院大学	図書館長	助 川 哲 也
				図書館次長	鈴 木 直 子
				資料管理課長	榎 本 愛
2	東地区部会長校	○	帝京大学	図書館長	木 村 友 久
				課長	饗 場 稔 恵
				係長	川 北 友 美
				主任	三 谷 典 子
				課員	山 内 歩
3	西地区部会長校	○	中部大学	図書館事務部次長	高 木 秀 明
4		○	専修大学	図書課長	飯 泉 慎 也
				図書課主任	野 村 彩 衣
5	東地区理事校	○	国立音楽大学	主任司書	森 岡 倫 子
				副参事	柄 田 明 美
6		○	立正大学	熊谷学術情報課課長	島 田 貴 司
7		○	北海学園大学	事務長	河 井 裕 司
8		/	椋山女学園大学	(欠席)	
9	西地区理事校	○	京都外国語大学	課長	東 南 隆 光
				管理運営課長	宮 杉 浩
10		○	大阪大谷大学	図書係	中 山 義 宣
11		○	広島経済大学	部長	岡 田 浩 典
				課長	栗 原 ま す み
12		○	久留米大学	課長	野 田 俊 介
				課長補佐	西 村 和 孝
13	東地区監事校	○	成蹊大学	図書館事務室部長兼事務長	寺 西 浩
				図書館事務室主査	土 橋 恵 美
				図書館事務室	小 野 美 紀
14	西地区監事校	○	西南学院大学	学術支援部事務部長	平 山 崇
				図書情報課長	高 野 晋 治
15	協会賞審査委員会	/	関西学院大学	事務部情報管理課課長	有 川 浩
16	研究助成委員会	/	関西学院大学	事務部運営課 課長	井 上 昌 彦
17	国際図書館協力委員会	/	法政大学	多摩事務課長	須 賀 真 弓
				総務・HOSEIミュージアム課	有 川 博 隆
18	次年度総会・研究大会 当番校	/	京都女子大学	図書館長	中 山 玲 子
				図書課長事務取扱	酒 井 桃 子
				図書係長	堀 恵 介

	役員名	議決権	大学名	職名	氏名	
19	次期会長校		関西学院大学	図書館長	難波 功士	
				事務部長	尾木 紹学	
				専任主管	服部 耕一郎	
22	次期東地区部会長校		中央大学	図書館長	三浦 俊彦	
				図書館事務部長	大谷 文男	
				図書館事務部副部長	高杉 幸史	
				図書館事務部副部長	工藤 邦弘	
				図書館事務部総務課長	佐藤 健士	
21	次期西地区部会長校		福岡大学	図書館長	佐藤 伸	
				図書館事務部長	小柳 利行	
				学術情報課長	山口 龍三	
				学術情報課長補佐	柳田 千寿	
22	次期東地区理事校		大正大学	図書館情報メディア部 図書館情報メディア課長	古川 真理	
				図書館情報メディア部 図書館情報メディア課主任	丸山 雄太	
23			大東文化大学	課長	鶴田 香織	
				課員	小川 美咲	
24			八戸工業大学	事務長	谷津 昌樹	
25	次期西地区理事校		金城学院大学	課長	田中 宏樹	
26			京都先端科学大学	図書課課長	佐野 直	
27				大阪体育大学	図書館事務長	伊藤 芳幸
					庶務部庶務担当	松本 和典
28				松山大学	図書館長	渡辺 幹典
					図書館事務部次長	森脇 裕美子
					図書館事務部 図書館事務室事務長	山内 弘一
29			久留米大学			